

✓ [Answer & Explanation]
 Evading Responsibility and Seeking
 Validation(Total: 50 点)

✓ Q1. Fill-in-the-Blanks(6 points)
 Answers (a) ③

[Explanation]

(a) in which

→ *one way in which SV* は「SV する一つの方法」という定型表現。

→ 空所以下の *we evade responsibility for our actions* は 完全文 なので、前置詞を含む関係表現 *in which* が必要になる。

→ *how SV = the way SV = the way in which SV* という対応関係も重要。

✗ 他の選択肢

① *which*:前置詞が不足する。

② *how*: *the way how* と同様、この形では不自然。

④ *what*:先行詞を含むので *way* と共存できない。

✓ Q2. Translation(20 points)

(解答例)

実際、私たちが他人にどう思うかをたずねる主な理由の一つは、自分がしたいことにその人たちが賛成してくれることを期待し、そうすることで自分の選択に対する外部からの承認を得たいからである。

[Explanation]

この文は *one of the main reasons ... is that SV* という骨格をもつ。

• *one of the main reasons ... is that SV*

→ 「主な理由の一つは SV だ」という基本構文。

→ *that* 以下が理由の中身を表している。

• *we ask other people what they think*

→ 「私たちが他人にどう思うかをたずねる」

→ *what they think* は 間接疑問文。

→ 語順は 疑問詞 + 主語 + 動詞 の平叙文語順になる。

→ 誤: *what do they think*

• *we hope they agree with what we want to do*

→ 「私たちがしたいことに、彼らが賛成してくれることを期待する」

• *provide external validation for our choice*

→ 「私たちの選択に対する外部からの承認を与える」

→ *external validation* は「外部からの承認・お墨付き」。

→ 全体として、

「他人に意見を聞くのは、単なる情報収集ではなく、自分のしたいことを正当化してもらいたいからだ」

という内容を述べている。

✓ Q3. Identification ①(6 points)

Answer ②

[Explanation]

Q3 は *Lacking* の働きを、本文と同じ用法で識別する問題。

本文の *Lacking the courage of our own convictions, we seek strength in those of others.*

→ 文頭の *Lacking* ~, *S V* は 分詞構文 (理由)。

→ 「~を欠いているので」という意味で、主節の理由を表す。

② *She remained silent during the meeting, lacking confidence in her own judgment.*

→ 主節の後に置かれた 分詞構文。

→ 「自分の判断に自信がなかったので、彼女は会議の間ずっと黙っていた。」

→ 「自信がないため」という理由を表し、本文と同じ働き。

✗ 他の選択肢

① *Lacking confidence can make it difficult to speak in public.*

→ 動名詞(主語)。「自信がないことは、人前で話すことを難しくしうる。」

③ *His constant lacking of patience caused many problems.*

→ 名詞的な用法で、分詞構文ではない。「彼の絶え間ない忍耐不足が多くの問題を引き起こした。」

④ *The team is lacking a clear leader to guide them in difficult situations.*

→ 動詞の一部で、分詞構文ではない。「そのチームは、困難な状況で彼らを導く明確なリーダーを欠いている。」

✔ Q4. Identification ②(6 points)

Answer ④

[Explanation]

Q4 は *those* の働きを、本文と同じ用法で識別する問題。

本文の

those of others

→ *those* は前に出た *convictions* を受ける 代名詞。

→ *those of others = the convictions of others*

→ 「他人の信念」という意味。

④ *Her ideas were completely different from those of her closest friends.*

→ *those = the ideas*

→ 前に出た複数名詞を受ける 代名詞 で、本文と同じ働き。

→ 「彼女の考えは、親しい友人たちの考えとはまったく異なっていた。」

✗ 他の選択肢

① *The customs of this region are different from those of the northern islands.*

→ 類似の用法だが、④のほうが本文と同じく「前出名詞の繰り返し回避」がより明確。

→ 「この地域の習慣は、北の島々の習慣とは異なっている。」

② *Those books on the shelf belong to the students in this classroom.*

→ 名詞 *books* を直接修飾する 指示形容詞。

→ 「棚の上のあれらの本は、この教室の生徒たちのものです。」

③ *I often avoid arguments with those who refuse to listen to others.*

→ 「~する人々」を表す用法で、本文と異なる。

→ 「私は、他人の話を聞こうとしない人たちとの議論をよく避ける。」

✔ Q5. Reading Comprehension(12 points)

Answers(1) ② (2) ②

[Explanation]

Q5. Reading Comprehension(各 6 点
× 2 問 = 12 点)

(1) 正解:②

Because they hope others will support what they already want to do and make their personal decision feel more justified.

根拠:第 2 文

we hope they agree with what we want to do, and so provide external validation for our choice

→ 他人に意見を聞くのは、自分がすでにしたいと思っていることに賛成してもらい、自分の選択を正当化したいからである。

誤答の根拠

- ① 自分の考えを厳しく見直すためとは書かれていない。
 - ③ 幅広い意見を中立的に集めることが主目的とは述べていない。
 - ④ 他人のほうが結果をよく理解しているからとは書かれていない。
-

(2) 正解:②

They often lack confidence in their own convictions and therefore depend on others for psychological support and reassurance.

根拠:最終文

Lacking the courage of our own convictions, we seek strength in those of others.

→ 自分の信念を貫く勇気が足りないため、他

人の信念に支えや安心感を求める、と述べている。

誤答の根拠

- ① すべての重要事項を完全に他人に委ねるとは書かれていない。
- ③ それは成熟した責任ある態度だ、とは本文の趣旨と逆。
- ④ 公に承認されれば正誤を気にしない、とまでは述べていない。